



岐阜県政記者クラブ加盟社 各位  
恵那記者会同時配布資料

令和4年7月4日（月）岐阜県発表資料		
担当課	担当者	電話番号
恵那土木事務所河川砂防課	河川砂防課長 三浦 修一	0573-26-1111（内線343）
恵那県事務所環境課	環境課長 奥村 一信	0573-26-1111（内線215）

## 恵那市<sup>あけちちょうすぎの</sup>明智町<sup>あけち</sup>杉野地内（明智川）における土壤汚染について

恵那市明智町杉野地内で土壤調査を実施したところ、土壤環境基準を超える「ヒ素」が検出されましたのでお知らせします。

なお、この調査は、恵那土木事務所が河川災害復旧工事にあたり、自主的に実施したものです。

### 1 調査の概要

- （1）調査地：恵那市明智町杉野地内
- （2）調査目的：工事に伴い発生する掘削土の処分を行うにあたり、事前に掘削予定地の土壤調査を実施したものの。

### 2 調査の結果

#### 土壤溶出量調査

項目	調査検体数	基準超過検体数	調査結果	土壤環境基準	基準超過倍率
ヒ素	1	1	0.013 mg/L	0.01 mg/L 以下	1.3 倍

※その他の物質についても調査を実施していますが、基準超過はありません。

### 3 汚染の原因

現時点では不明です。

なお、周辺地域には、ヒ素を原料に使用する工場・事業場はありません。

### 4 今後の対応

#### （1）周辺地下水調査について

恵那県事務所において、「岐阜県地下水の適正管理及び汚染対策に関する要綱」に基づき、恵那市と協力して、土壤環境基準超過が判明した場所から半径250mの範囲内にある家庭及び事業所を対象に、井戸水の利用状況調査及び水質調査を直ちに実施します。

#### （2）地域住民への情報提供について

井戸水を利用している場合は、水質検査結果が判明するまでの間、恵那県事務所は、飲用自粛を呼びかけます。

#### （3）汚染土壌の対策について

恵那土木事務所は、土壤汚染対策法に準じて、汚染土壌の適正な処理を行います。

～参考～

【ヒ素とは】

ヒ素はもともと自然界に存在しており、環境中から検出されていますが、これらは主に地質由来のものと考えられています

ヒ素の摂取による急性の中毒症状としては、めまい、頭痛、四肢の脱力、全身疼痛、麻痺、呼吸困難、角化や色素沈着などの皮膚への影響、下痢を伴う胃腸障害、腎障害、末梢神経障害が報告されています。また、慢性の中毒症状としては、ヒ素に汚染された井戸水を飲んだことによって、皮膚の角質化や色素沈着、末梢性神経症、皮膚がん、末梢循環器不全などが報告されています。

参考：化学物質ファクトシート-2012年版-（環境省）